

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	ボランティアの高齢化などで、協力をお願いできる方が不足しつつある。	ボランティアの人数を増やす。長く続けてくださっている方も、利用者さんとの新しい関わりができないか探っていく。	現在のボランティアや利用者家族、他事業所の関係者などいろいろな方面に声をかける。現在のボランティアともよく話をして、長く続けていただけるよう、無理のない関わり方を考える。	12ヶ月
2	60	利用者の高齢化やADLの低下のため、外出の希望に添えないことがある。	その人なりの外への関わりを、一人一人の状態に応じて叶える。	外出を、必ずしも施設の外に出かけることだけでなく、庭の散歩やデイホームとの交流を含めて考え、利用者の生活が閉塞的にならないような毎日にする。ボランティアの協力も得る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。